

令和5年度 水道事業会計 予算概要

上下水道部

1 予算の概況

水道事業は、市民生活や産業活動を支える重要なライフラインであることから、安定的かつ持続的な事業経営が求められています。そのために、より一層の経営の効率化を進めるとともに、水道事業ビジョンや経営戦略に基づき、水道施設の適正な維持管理や強靱で安定した施設への更新に取り組みます。

1.1 収益的収支

(1) 給水戸数及び給水量

給水戸数は、戸建て住宅の新築等により増加傾向となっている実績を勘案し、増加の見込みとしています。

給水量では、給水人口の減少による家庭用での使用水量の減少を見込んでいます。

(2) 収益及び費用の見込み

収益及び費用の状況につきましては、収益では、水道料金である給水収益や他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する受託工事収益、給水装置工事に係る設計審査・工事検査手数料等を計上しています。給水収益については、使用水量の減少に伴う減収を見込んでいます。収益全体では、令和4年度の土地売却による固定資産売却益の皆減を踏まえて、前年度比29,293千円減の2,207,889千円を見込んでいます。

また、費用においては複数の業務や施設管理を包括的に委託する福知山市上水道事業等包括的民間委託に係る委託料のほか、水道メーターの取替に係る修繕費等を計上しています。事業費のうち大きな割合を占める動力費については、原油価格の高騰による影響を見込んだ一方で、修繕費や支払利息等の減少により、費用全体では、前年度比26,284千円減の2,185,540千円を見込んでいます。

収益から費用を差し引いた令和5年度の純利益は、前年度比3,009千円減の22,349千円を見込んでいます。

区分	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
給水戸数(戸)	36,650	36,050	600	実績を勘案し、増加の見込み
給水量(m ³)	8,970,000	9,253,000	△ 283,000	実績を勘案し、使用水量の減少の見込み
収益(千円・税抜)	2,207,889	2,237,182	△ 29,293	給水収益の減少の見込み
(うち給水収益(千円・税抜))	(1,630,901)	(1,659,190)	(△28,289)	家庭用等での使用水量の減少の見込み
費用(千円・税抜)	2,185,540	2,211,824	△ 26,284	修繕費や支払利息の減少の見込み
差引(千円・税抜)	22,349	25,358	△ 3,009	増減率 △11.9%

1.2 資本的収支

(1) 建設改良事業について

堀山第3配水系統配水管などの基幹管路の耐震管への布設替や、測定結果を常時把握するための水質測定所等の設置、避難所につながる大江町二箇上地内の配水支管の耐震管への布設替等により、水道水の安定供給に努めます。

区分	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
収入(千円・税抜)	1,298,880	1,560,379	△ 261,499	企業債や補助金の減少の見込み
支出(千円・税抜)	2,046,245	2,551,859	△ 505,614	建設改良事業や投資の減少の見込み
差引(千円・税抜)	△ 747,365	△ 991,480	244,115	増減率 △24.6%

2 収益的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要	
事業 収益	営業収益	給 水 収 益	1,630,901	1,659,190	△ 28,289	家庭用での使用水量の減	
		受 託 工 事 収 益	12,500	10,622	1,878	—	
		そ の 他 営 業 収 益	28,356	27,165	1,191	下水道徴収事務負担金等の増	
	営業外収益	受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,715	1,224	491	有価証券利息の増	
		他 会 計 補 助 金	181,866	169,449	12,417	電気料金等の高騰に伴う一般会計繰入金 の増	
		長 期 前 受 金 戻 入	343,795	352,601	△ 8,806	償却期間満了に伴う長期前受金戻入益 の減	
		雑 収 益	8,756	8,898	△ 142	電算リース料負担分の減	
	特別利益	固 定 資 産 売 却 益	0	8,033	△ 8,033	R4: 土地売却に伴う収益	
	計			2,207,889	2,237,182	△ 29,293	
	事業 費用	営業費用	原 水 及 び 浄 水 費	489,490	456,753	32,737	高圧契約電力費等の増
配 水 及 び 給 水 費			282,112	333,572	△ 51,460	修繕費等の減	
受 託 工 事 費			12,500	12,500	0	—	
総 係 費			167,966	158,028	9,938	人件費や光熱水費等の増	
減 価 償 却 費			1,080,930	1,088,479	△ 7,549	償却対象資産の減少に伴う減	
資 産 減 耗 費 他			3,867	6,137	△ 2,270	固定資産除却費の減	
営業外費用		支 払 利 息	143,945	151,625	△ 7,680	償還完了・元利均等償還に伴う企業債利 息の減	
		雑 支 出	2,730	2,730	0	—	
予 備 費		予 備 費	2,000	2,000	0	—	
計			2,185,540	2,211,824	△ 26,284		
収支差引			22,349	25,358	△ 3,009		

令和5年度当初予算における一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する収益的収支の考え方については以下のとおり計上しています。

収益

①	給水収益	<ul style="list-style-type: none"> お客様からいただく水道料金です。 新年度予算では、給水人口減少による使用水量の減少等を見込んでいます。
②	受託工事収益	<ul style="list-style-type: none"> 他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する負担金です。給水管等の移設負担金及び消火栓設置負担金を計上しています。
③	その他営業収益	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の運営に伴う収益です。材料売却収益、設計審査・工事検査手数料、指定業者手数料、下水道徴収事務負担金を計上しています。 新年度予算では、料金の徴収に係る経費の増加による下水道徴収事務負担金単価の増加を見込んでいます。
④	営業外収益	<ul style="list-style-type: none"> 主に財務活動から得られる収益です。受取利息及び配当金、他会計補助金、長期前受金戻入、賃貸料等を計上しています。 新年度予算では、有価証券利息や他会計補助金の増加を見込んでいます。
⑤	特別利益	<ul style="list-style-type: none"> 経常的な事業活動とは直接関わりのない特別な要因で発生する臨時的な利益です。 旧年度予算においては土地売却収益を計上していました。

費用

①	原水及び浄水費	<ul style="list-style-type: none"> 水道水をつくるためにかかる経費です。人件費、委託料、修繕費、動力費等が主な費用です。 新年度予算では、高圧契約電力費の原油価格の高騰による増加を見込んでいます。
②	配水及び給水費	<ul style="list-style-type: none"> つくった水道水を各家庭等に送り届けるためにかかる経費です。人件費、委託料、修繕費、動力費等が主な費用です。 新年度予算では、給水管入替に係る修繕費等の減少を見込んでいます。
③	受託工事費	<ul style="list-style-type: none"> 他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する費用です。給水管等の移設費用及び消火栓設置費用が主な費用です。
④	総係費	<ul style="list-style-type: none"> 一般事務経費等です。人件費、委託料、手数料等が主な費用です。 新年度予算では、人件費や光熱水費等の増加を見込んでいます。
⑤	減価償却費	<ul style="list-style-type: none"> 管路や水道施設の年間価値減少分です。 新年度予算では、償却対象資産の減少を見込んでいます。
⑥	資産減耗費他	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産等の使用によって生じる費用です。固定資産除却費、たな卸資産減耗費を計上しています。 除却予定資産の減少による固定資産除却費の減少を見込んでいます。
⑦	営業外費用・予備費	<ul style="list-style-type: none"> 企業債利息、漏水減免還付金、特別損失、予備費を計上しています。 新年度予算では、償還の完了や元利均等償還による企業債利息の減少を見込んでいます。

3 資本的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
資本的収入	企業債	企業債	802,100	1,072,900	△ 270,800	起債対象事業費の減
	負担金	工事負担金	105,162	84,568	20,594	対象工事の増(8件→9件)
		他会計負担金	13,795	11,122	2,673	消火栓設置に伴う一般会計繰入金の増
	加入金	加入金	56,629	54,514	2,115	φ20新規等加入件数の増
	出資金	一般会計 出資	236,686	219,312	17,374	出資に要する経費の増
	補助金	国府補助金	83,496	113,387	△ 29,891	生活基盤施設耐震化等交付金 (補助率1/3、1/4)の減
		他会計補助金	1,012	1,140	△ 128	児童手当に係る一般会計繰入金の減
固定資産 売却代金	土地売却代金	0	3,436	△ 3,436	R4:土地売却に伴う土地取得価格相当額	
計			1,298,880	1,560,379	△ 261,499	
資本的支出	建設改良費	施設拡張費	93,666	82,959	10,707	配水設備費 +10,610千円 メーター設備費 +97千円
		施設改良費	1,020,532	1,220,260	△ 199,728	原水及び浄水設備費 △231,070千円 配水設備費 +31,342千円
		固定資産 購入費	0	5,103	△ 5,103	R4:公用車・積算システム用パソコンほか
		事務費	68,352	88,318	△ 19,966	委託料等の減
		投資	0	250,000	△ 250,000	R4:国債の取得
	企業債償還金	企業債償還金	863,695	905,219	△ 41,524	償還完了に伴う償還元金の減 R5年度末残高見込 9,341,784千円
計			2,046,245	2,551,859	△ 505,614	
収支差引			△ 747,365	△ 991,480	244,115	
(消費税等資本的収支調整額)			△ 17,956	△ 38,879	20,923	
補てん財源	損益勘定 剰保資	655,321	930,359	△ 275,038	R5年度末残高見込 500,139千円	
	減債積立金	110,000	100,000	10,000	R5年度末残高見込 208,897千円	

建設改良のための収支である資本的収支の考え方については以下のとおり計上しています。

収入

①	企業債	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるために国などから借りるお金です。 ・新年度予算では、起債対象事業費の減少に伴い、借入額の減少を見込んでいます。
②	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業以外から負担していただくお金です。配水管等の移設負担金、消火栓設置に係る他会計負担金を計上しています。 ・新年度予算では、対象工事の1件増加に伴う工事負担金の増加を見込んでいます。
③	加入金	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の新築・増改築に伴い、給水装置の新設・変更などのお申し込みの際にいただくお金です。 ・新年度予算では、φ20における新規等水道加入件数の増加を見込んでいます。
④	一般会計出資金	<ul style="list-style-type: none"> ・旧簡易水道の償還元金等に係る一般会計からの出資金を計上しています。 ・新年度予算では、出資に要する経費の増加を見込んでいます。
⑤	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・府からの補助金(基幹管路耐震管更新・遠隔監視システム整備・重要給水施設配水管耐震管更新)や児童手当に要する経費に対する他会計補助金を計上しています。
⑥	土地売却代金	<ul style="list-style-type: none"> ・旧年度予算においては土地売却代金に係る取得原価を計上していました。

支出

①	施設拡張費	<ul style="list-style-type: none"> ・上佐々木第2浄水場給水区域ほか水質測定所設置工事や管巻地内連絡管布設工事等に係る費用を計上しています。
②	施設改良費	<ul style="list-style-type: none"> ・堀山第3配水系統配水管布設替工事や市道長田野工業団地本線ほか配水支管布設替工事等に係る費用を計上しています。
③	固定資産購入費	<ul style="list-style-type: none"> ・旧年度予算においては公用車や積算システム用パソコンの購入費用を計上していました。
④	事務費	<ul style="list-style-type: none"> ・建設改良に係る一般経費等です。人件費、委託料、賃借料等が主な費用です。 ・新年度予算では、建設改良工事の設計業務に係る委託料等の増加を見込んでいます。
⑤	投資	<ul style="list-style-type: none"> ・旧年度予算においては国債の取得に要する経費を計上していました。
⑥	企業債償還金	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の元金償還金を計上しています。

補てん財源

①	損益勘定留保資金	<ul style="list-style-type: none"> ・資本的収支の補てん財源の一つです。当年度収益的収支における、減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金です。
②	減債積立金	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法に定める法定積立金の一つです。事業年度末日に企業債を有している企業が、その企業債の償還に充てるために積立てる積立金で、他の用途には使用することができません。

3-1 建設改良費の内訳

(主な建設改良事業)

- (1) 堀山第3配水系統配水管布設替事業(水道管路緊急改善事業、国補助 1/3)
198,400千円(うち補助対象事業費 159,000千円)
- (2) 上佐々木第2浄水場給水区域ほか5か所水質測定所等設置事業(遠隔監視システム整備費、国補助 1/4)
65,460千円(うち補助対象事業費 55,264千円)
- (3) 大江町二箇上地内配水支管布設替事業(重要給水施設配水管、国補助 1/4)
46,310千円(うち補助対象事業費 36,360千円)

(税抜 単位:千円)

目	内容	説明	事業費
施設拡張費			93,666
	上佐々木第2浄水場給水区域ほか 水質測定所設置工事	1 式	51,780 (2)
	筈巻地内 府道舞鶴福知山線連絡管布設工事	φ 150 300 m	35,700
	その他配水管布設工事・メーター設備費用		6,186
施設改良費			1,020,532
	(原水及び浄水設備費)		90,910
	法用地内 国道429号バイパス工事に伴う送水管移設工事	SUS75A 260 m	15,950 (2)
	芦洲浄水場及び芦洲原水調整棟ほか 水質測定器設置工事	1 式	13,680 (2)
	私市地内 市道堺線道路改良工事に伴う送水管移設工事	φ 100 20 m	9,540
	上佐々木第2浄水場薬注自動コントローラ更新工事	1 式	6,770
	下天津浄水場薬注自動コントローラ更新工事	1 式	6,250
	その他		38,720
	(配水設備費)		929,622
	大池坂町地内ほか 堀山第3配水系統 配水管布設替工事	φ 300 1,095 m	198,400 (1)
	長田野町地内 市道長田野工業団地本線ほか配水支管布設替工事	φ 150~φ 200 534 m	63,790
	南羽合地内 市道羽合室線配水支管布設替工事	φ 200 270 m	51,580
	大江町二箇上地内 配水支管布設替工事	φ 150 300 mほか	46,310 (3)
	一ノ宮ほか地内 減圧弁更新工事	1 式	33,290
	夜久野町井田地内 国道9号配水支管移設工事	φ 200 269 m	30,900
	大江町清水地内 国道175号配水支管布設替工事	φ 100 170 m	29,730
	夜久野町井田地内 府道小坂青垣線配水支管移設工事	φ 200 256 m	29,580
	かしの木台地内 市道かしの木台6号線配水支管布設替工事	φ 50 260 m	25,510
	北小谷ヶ丘地内 市道荒木神社堀線配水支管布設替工事	φ 100 220 m	24,720
	稲葉加圧ポンプ所ほか 加圧ポンプ盤更新工事	1 式	43,360
	上町浄水場系統 監視通信機器更新工事	1 式	24,750
	堀山第2配水池ほか 直流電源装置更新工事	1 式	8,000
	その他		319,702
事務費			68,352
	人件費(給料、手当等)ほか		58,154
	その他		10,198
合計			1,182,550

4 債務負担行為

事項	期間	限度額
第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託	令和5年度から 令和10年度まで	3,572,775千円

令和5年度 下水道事業会計 予算概要

上下水道部

1 予算の概況

下水道事業は、重要なライフラインであり、安心・安全で快適な市民生活を持続していくため、老朽化する施設の計画的な更新を進めるとともに、耐震化等の防災・減災対策を強化し、強靱で安定した施設を構築するための取組みを進めます。また、令和5年4月1日より行積長尾地区農業集落排水施設については公共下水道に施設統合を行うとともに、残る農業集落排水施設事業についても、地方公営企業法の規定の全部を適用し、下水道事業会計に経営統合(以下、「施設統合等」といいます。)します。

1.1 収益的収支

(1) 処理戸数及び処理水量

処理戸数及び処理水量は、施設統合等により、増加を見込んでいます。

(2) 収益及び費用の見込み

収益及び費用の状況につきましては、収益では、下水道使用料や雨水処理負担金、督促手数料等を計上しています。

収益全体では、施設統合等により、前年度比960,608千円増の4,731,880千円を見込んでいます。

また、費用においては、委託料、修繕費、動力費等を計上しています。施設統合等や原油価格等の高騰による動力費の増加等により、費用全体では、前年度比978,717千円増の4,564,750千円を見込んでいます。

収益から費用を差し引いた令和5年度の純利益は、前年度比18,109千円減の167,130千円を見込んでいます。

区分	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
処理戸数(戸)	35,250	31,300	3,950	集排分(3309戸)、行積長尾分(60戸)等の増加
処理水量(m ³)	19,462,400	18,483,800	978,600	R5:有収水量12,946,500m ³ 、雨水ほか6,515,900m ³ 集排分有収水量670,500m ³
収益(千円・税抜)	4,731,880	3,771,272	960,608	長期前受金戻入の減少の見込み 集排分990,157千円の増
(うち下水道使用料(千円・税抜))	(1,902,164)	(1,724,857)	(177,307)	営業用、特別用及び行積長尾分での有収水量の増加の見込み 集排分143,067千円の増
費用(千円・税抜)	4,564,750	3,586,033	978,717	資産減耗費や支払利息の減少の見込み 集排分985,764千円の増
差引(千円・税抜)	167,130	185,239	△ 18,109	増減率 △9.8%

1.2 資本的収支

(1) 建設改良事業について

下水汚泥有効利用やポンプ場の耐震補強工事等に取り組み、下水道施設全体の最適化を見据え、効率的・効果的な運用を図ります。

長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事等の浸水対策を進めるための実施設計業務や工事に着手し、近年激甚化する豪雨災害等への対策を進めるとともに、災害時にトイレ機能を確保するためにマンホールトイレの下部工事を行う等、防災・減災対策の強化に向けて取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

また、現在、下水道施設の老朽化が進み、基幹施設の更新や耐震化が喫緊の課題となっている中、終末処理場汚泥処理施設再構築事業をはじめ、施設や管路の改築・更新及び耐震化に取り組みます。

区分	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
収入(千円・税抜)	3,532,666	2,344,456	1,188,210	企業債や補助金の増加の見込み 集排分318,076千円の増
支出(千円・税抜)	4,780,949	3,498,034	1,282,915	建設改良事業の増加の見込み 集排分578,487千円の増
差引(千円・税抜)	△ 1,248,283	△ 1,153,578	△ 94,705	増減率 8.2%

2 収益的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
事業収益	営業収益	下水道使用料	1,902,164	1,724,857	177,307	営業用、特別用及び行積長尾分での有収水量の増 集排分143,067千円の増
		負担金	547,616	553,893	△ 6,277	し尿投入負担金(工事費分)の減 —
		その他営業収益	7,147	2,724	4,423	材料売却収入の増 集排分96千円の増
	営業外収益	受取利息及び配当金	539	438	101	有価証券利息の増 集排分4千円の増
		他会計負担金	603,117	319,650	283,467	特別措置分や普及特別対策分の減 集排分337,544千円の増
		他会計補助金	329,244	107,347	221,897	電気料金等の高騰に伴う一般会計繰入金の増 集排分186,000千円の増
		補助金	5,403	4,000	1,403	— 集排分1,403千円の増(農業集落排水事業推進交付金)
		長期前受金戻入	1,336,128	1,057,845	278,283	償却期間満了に伴う長期前受金戻入益の減 集排分321,685千円の増
		雑収益	242	518	△ 276	電算リース料等負担金の減 集排分78千円の増
		特別利益	固定資産売却益	280	0	280
計		4,731,880	3,771,272	960,608	集排分990,157千円	
事業費用	営業費用	管渠費	193,873	140,902	52,971	動力費や委託料等の増 集排分47,866千円の増
		ポンプ場費	189,708	176,853	12,855	動力費や修繕費等の増 —
		処理場費	1,132,783	851,139	281,644	動力費等の増 集排分281,330千円の増
		業務費	102,434	97,189	5,245	人件費等の減 集排分10,015千円の増
		総係費	76,638	68,783	7,855	人件費や会費負担金等の増 集排分1,046千円の増
		減価償却費	2,560,668	1,953,014	607,654	行積長尾分の増 集排分591,168千円の増
		資産減耗費	13,521	59,054	△ 45,533	旧下豊西部汚水処理場内工作物撤去(R4)に伴う固定資産除 却費の減 集排分2,019千円の増
		その他営業費用	5,100	1,000	4,100	材料売却原価の増 —
	営業外費用	支払利息	258,888	213,553	45,335	償還完了・元利均等償還に伴う企業債利息の減 集排分48,093千円の増
		雑支出	21,910	20,546	1,364	旧行積長尾汚水処理場内汚泥清掃等業務の増 —
	特別損失	その他特別損失	3,227	0	3,227	— 集排分3,227千円の増(集排の法適用に伴う特別損失)
	予備費	予備費	6,000	4,000	2,000	セグメント毎の計上に伴う予備費の増 集排分1,000千円の増
	計		4,564,750	3,586,033	978,717	集排分985,764千円
収支差引		167,130	185,239	△ 18,109	集排分4,393千円	

令和5年度当初予算における一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する収益的収支の考え方については以下のとおり計上しています。また、施設統合等に伴う予算を計上しています。

収入

①	下水道使用料	<ul style="list-style-type: none"> ・排出した汚水量に応じてお客様に負担していただく料金です。 ・新年度予算では、有収水量の増加を見込んでいます。
②	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、雨水処理関連費用の繰入金や、し尿投入負担金を計上しています。 ・新年度予算では、し尿投入負担金の減少を見込んでいます。
③	その他営業収益	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の運営に伴う収益です。督促手数料や材料売却収入による収益を計上しています。 ・新年度予算では、材料売却収入の増加を見込んでいます。
④	営業外収益	<ul style="list-style-type: none"> ・主に財務活動から得られる収益です。受取利息及び配当金、他会計負担金、他会計補助金、国府補助金、長期前受金戻入等を計上しています。 ・新年度予算では、有価証券利息や他会計補助金の増加を見込んでいます。
⑤	特別利益	<ul style="list-style-type: none"> ・経常的な事業活動とは直接関わりのない特別な要因で発生する臨時的な利益です。 ・新年度予算では、有路污水处理場の土地売却に伴う収益を計上しています。

費用

①	管渠費	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水や雨水を排水するためのマンホールポンプや下水道管の維持補修に要する経費です。人件費、動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・新年度予算では、原油価格の高騰による動力費の増加を見込んでいます。
②	ポンプ場費	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等からの排水を処理場へ送るためにかかる経費です。動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・新年度予算では、原油価格等の高騰による動力費の増加を見込んでいます。
③	処理場費	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水を浄化するのにかかる経費です。人件費、動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・新年度予算では、原油価格等の高騰による動力費の増加を見込んでいます。
④	業務費	<ul style="list-style-type: none"> ・排水設備の運営・管理や下水道使用料に関する窓口・電話対応、徴収業務等を行う包括的民間委託を含んだ経費です。人件費、委託料、補償金、会費負担金等が主な費用です。 ・新年度予算では、職員異動に伴い人件費の減少を見込んでいます。
⑤	総係費	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事務経費等です。人件費、備用品費、委託料、賃借料等が主な費用です。 ・新年度予算では、職員異動に伴い人件費の増加を見込んでいます。
⑥	減価償却費	<ul style="list-style-type: none"> ・管渠や下水道施設の年間価値減少分です。 ・新年度予算では、償却対象資産の増加を見込んでいます。
⑦	資産減耗費	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産等の使用によって生じる費用です。固定資産除却費、たな卸資産減耗費を計上しています。 ・新年度予算では、除却予定資産の減少による固定資産除却費の減少を見込んでいます。
⑧	その他営業費用	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道用材料の売却原価を計上しています。 ・新年度予算では、材料売却原価の増加を見込んでいます。
⑨	営業外費用・予備費	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債利息、漏水減免還付金、予備費を計上しています。 ・新年度予算では、企業債利息の増加を見込んでいます。
⑩	特別損失	<ul style="list-style-type: none"> ・経常的な事業活動とは直接関わりのない特別な要因で発生する臨時的な費用です。 ・新年度予算では、農業集落排水施設事業の地方公営企業法の適用に伴い発生する費用を計上しています。

3 資本的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R5(予算)	R4(予算) 補正後	増減	摘要
資本的収入	企業債	企業債	1,924,000	1,348,800	575,200	起債対象事業費の増 集排分174,100千円の増
	負担金	他会計負担金	234,306	83,117	151,189	特別措置分の増 集排分79,035千円の増
	補助金	国府補助金	1,335,779	902,400	433,379	下水道脱炭素化推進事業補助金の増 集排分45,059千円の増
	分担金 及び負担金	受益者負担金	999	1,039	△ 40	—
		特環分担金	1,100	1,100	0	—
		集排分担金	700	0	700	集排分700千円の増
	工事負担金	工事負担金	35,400	8,000	27,400	対象工事の増(2件→4件) 集排分18,800千円の増
固定資産 売却代金	土地売却代金	382	0	382	— 集排分382千円の増(有路汚水処理場の土地売却に伴う土 地取得価格相当額)	
計			3,532,666	2,344,456	1,188,210	集排分318,076千円
資本的支出	建設改良費	管渠施設 拡張事業費	183,639	218,530	△ 34,891	合流管渠布設事業費 +10,000千円 雨水管渠布設事業費 △59,073千円 污水管渠布設事業費 +14,182千円 —
		管渠施設 改良事業費	447,630	680,535	△ 232,905	合流管渠改築更新事業費 △40,818千円 雨水管渠改築更新事業費 +910千円 污水管渠改築更新事業費 △252,483千円 集排分59,486千円の増
		ポンプ場施設 改良事業費	225,549	412,930	△ 187,381	雨水排水ポンプ場改築更新事業費 △31,999千円 污水中継ポンプ場改築更新事業費 △155,382千円 —
		処理場施設 改良事業費	1,970,600	680,404	1,290,196	水処理・汚泥処理施設改築更新事業費 +1,238,960千円 集排分51,236千円の増
		業務用施設 改良事業費	0	1,190	△ 1,190	業務用施設改良事業費 △1,190千円 —
		固定資産購入費	7,874	15,489	△ 7,615	用地、公用車、可搬式排水ポンプほか —
		事務費	194,863	186,007	8,856	人件費や委託料等の減 集排分17,137千円の増
		投資	0	50,000	△ 50,000	R4: 国債の取得 —
	企業債償還金	企業債償還金	1,750,639	1,252,949	497,690	R元借入分の償還開始に伴う償還元金の増 R5年度末残高見込 21,768,310千円 集排分450,473千円の増
	補助金返還金	国府補助金 返還金	155	0	155	— 集排分155千円の増(有路汚水処理場の土地売却に伴う国 府補助金返還金)
計			4,780,949	3,498,034	1,282,915	集排分578,487千円
収支差引			△ 1,248,283	△ 1,153,578	△ 94,705	集排分△260,411千円
(消費税等資本的収支調整額)			△ 143,438	△ 88,473	△ 54,965	集排分△11,956千円
補てん財源	損益勘定留保資金	1,051,721	862,051	189,670	集排分272,367千円 R5年度末残高見込 412,175千円	
	減債積立金	340,000	380,000	△ 40,000	R5年度末残高見込 200,655千円	

建設改良のための収支である資本的収支の考え方については以下のとおり計上しています。また、施設統合等に伴う予算を計上しています。

収入

①	企業債	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるためや元金償還に対する減価償却費の不足額を補填するために国等から借りるお金です。 ・新年度予算では、起債対象事業費の増加に伴い、借入額の増加を見込んでいます。
②	他会計負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の元金償還分に対する総務省基準に基づく一般会計からの負担金です。 ・新年度予算では、増加を見込んでいます。
③	国府補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・地震対策・浸水対策・改築更新・下水道脱炭素化推進事業に係る国・府からの補助金です。 ・新年度予算では、補助対象事業費の増加に伴い、増加を見込んでいます。
④	分担金及び負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道受益者負担金、特定環境保全公共下水道分担金及び集落排水分担金を計上しています。
⑤	工事負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・府・市等の他事業の実施に伴う下水道施設の移設等に係る補償金等です。 ・新年度予算では、対象工事の増加に伴う工事負担金の増加を見込んでいます。
⑥	土地売却代金	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算では、有路污水处理場の土地売却代金に係る取得原価を計上しています。

支出

①	施設拡張事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算では、長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事等に係る費用を計上しています。
②	施設改良事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算では、庵我汚水中継ポンプ場耐震補強工事や継続費である終末処理場汚泥処理施設再構築事業等に係る費用を計上しています。
③	固定資産購入費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算では、用地や公用車等の購入費用を計上しています。
④	事務費	<ul style="list-style-type: none"> ・建設改良に係る一般経費等です。人件費、委託料等が主な費用です。 ・新年度予算では、職員異動に伴い人件費は減少を見込んでいます。
⑤	投資	<ul style="list-style-type: none"> ・旧年度予算では、国債の取得に要する経費を計上していました。
⑥	企業債償還金	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の元金償還金を計上しています。
⑦	国府補助金返還金	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算では、有路污水处理場の土地売却に伴う国府補助金返還金を計上しています。

補てん財源

①	損益勘定留保資金	<ul style="list-style-type: none"> ・資本的収支の補てん財源の一つです。当年度収益的収支における、減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金です。
②	減債積立金	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法に定める法定積立金の一つです。事業年度末日に企業債を有している企業が、その企業債の償還に充てるために積立てる積立金で、他の用途には使用することができません。

3-1 建設改良費の内訳

(主な建設改良事業)

- (1) 庵我汚水中継ポンプ場耐震補強工事(国補助 1/2)
68,182千円(うち補助対象事業費36,364千円)
- (2) 福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業(国補助 5.5/10)
1,768,182千円(うち補助対象事業費1,768,182千円)
- (3) 長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事(国補助 1/2)
31,819千円(うち補助対象事業費 27,273千円)
- (4) 三和浄化センター水処理設備コントロールセンター盤更新工事(国補助 5.5/10)
48,000千円(うち補助対象事業費 48,000千円)
- (5) 福知山処理区マンホール鉄蓋ほか更新工事(国補助 1/2)
37,910千円(うち補助対象事業費 10,910千円)

(税抜 単位:千円)

目	内容	説明	事業費
管渠施設 拡張事業費			183,639
	(合流管渠布設事業費)		10,000
	福知山処理区 和久市第1圧送管 管渠布設実施設計業務		10,000
	(雨水管渠布設事業費)		82,729
	長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事	治水対策	31,819
	土師排水区土師新町東雨水排水路新設工事	治水対策	27,273
	長田野第1排水区ほか雨水排水施設設計業務	治水対策	12,727
	土師排水区浸水対策施設計画業務	治水対策	6,364
	福知山排水区雨水管理方針策定業務	治水対策	3,637
	六呂川排水区西佳屋野町雨水排水路新設工事	治水対策	909
	(汚水管渠布設事業費)		90,910
	長田野系統長田野町地区管路布設工事		74,546
	長田野系統長田野町地区管路施設詳細設計業務		12,364
	私道内管渠布設工事		4,000
	管渠施設 改良事業費		
(合流管渠改築更新事業費)			10,910
西本町ほか地内 マンホール鉄蓋更新工事			10,910
(雨水管渠改築更新事業費)			31,820
長田野1号雨水幹線排水路改修工事		治水対策	9,091
土師排水区雨水排水路改修工事		治水対策	9,091
福知山排水区雨水排水施設ストックマネジメント老朽化調査業務		治水対策	4,546
長田野第1排水区雨水排水路周辺整備工事(幹線排水路安全対策)		治水対策	4,546
長山町ほか地内雨水マンホール鉄蓋更新工事		治水対策	3,637
梅原貯留施設流入ゲート改修工事		治水対策	909

(3)

(汚水管渠改築更新事業費)		404,900	
マンホール鉄蓋更新ほか工事(国・府・市他工事関連)	公共	73,428	
福知山処理区 管路ほか耐震化工事 水管橋		51,000	
マンホール鉄蓋更新ほか工事(国・府・市他工事関連)	特環	50,200	
福知山処理区 マンホール鉄蓋ほか更新工事 第1期⑤		37,910	(5)
西部系統 管路施設更新工事(厚中間屋町)		27,930	
福知山処理区 東部系統ほか本管テレビカメラ調査ほか業務		20,000	
福知山処理区第2期 マンホール鉄蓋更新実施設計業務①②		16,000	
三和処理区 マンホールポンプ設備更新工事		16,000	
福知山処理区 不明水対策管路更新実施設計業務(新庄・庵我・日吉ヶ丘)		10,000	
下水道汚水不明水対策工事(長田段・南天田)		10,000	
福知山処理区 マンホールポンプ設備更新実施設計業務		8,000	
西部系統 今安地区管路改築工事		7,000	
大江中部処理区 マンホールポンプ設備更新工事		5,600	
福知山市公共下水道に係る計画設計業務		4,546	
福知山処理区 総合地震対策マンホールトイレ下部設置工事		4,100	
長山町ほか地内 マンホール鉄蓋更新工事		3,700	
榎原川河川改修工事に伴う下水道管移設工事	集排	13,636	
相長川築堤関連工事に伴う下水道管移設工事	集排	9,000	
国道429号道路改良工事に伴う下水道管移設工事	集排	7,800	
市道堺線道路改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	5,102	
大江町北有路1号マンホールポンプ場汚水ポンプ更新工事	集排	5,000	
大江町南有路6号マンホールポンプ場汚水ポンプ更新工事	集排	4,900	
夜久野町千原6号マンホールポンプ場操作盤更新工事	集排	2,600	
府道舞鶴福知山線改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	2,128	
府道上夜久野停車場線道路改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	2,030	
市道大内山田線道路改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	2,030	
市道小倉線舗装改良に伴うマンホール高さ調整工事	集排	1,624	
夜久野町千原2号マンホールポンプ場汚水ポンプ更新工事	集排	1,200	
国道9号道路改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	812	
府道小坂青垣線道路改良工事に伴うマンホール高さ調整工事	集排	812	
市道下夜久野停車場線舗装改良に伴うマンホール高さ調整工事	集排	812	
ポンプ場施設改良事業費		225,549	
(雨水排水ポンプ場改築更新事業費)		72,183	
和久市ポンプ場沈砂池耐震補強に伴う集砂装置移設工事	治水対策	35,455	
和久市第1ポンプ場 流入ゲート更新工事	治水対策	24,000	
和久市ポンプ場沈砂池耐震補強工事	治水対策	12,728	
(汚水中継ポンプ場改築更新事業費)		153,366	
庵我汚水中継ポンプ場耐震補強工事		68,182	(1)
段畑汚水中継ポンプ場 コントロールセンター盤更新工事		47,000	
段畑汚水中継ポンプ場耐震改修実施設計業務		14,546	

	蛇ヶ端汚水中継ポンプ場耐震改修実施設計業務		14,546		
	段畑汚水中継ポンプ場耐震改修実施設計業務		3,637		
	蛇ヶ端汚水中継ポンプ場耐震改修実施設計業務		3,637		
	汚水中継ポンプ場 外灯照明LED化更新工事		1,818		
処理場施設 改良事業費			1,970,600		
	(水処理・汚泥処理施設改築更新事業費)		1,970,600		
	福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業	継続費	1,768,182	(2)	
	福知山市公共下水道事業 施設台帳システム再構築業務		55,000		
	三和浄化センター 水処理設備 コントロールセンター盤更新工事		48,000	(4)	
	福知山終末処理場再配置基本構想策定業務		23,636		
	福知山終末処理場 受変電設備 第2場内ポンプ場1次盤ほか改修工事		20,000		
	福知山市公共下水道に係る計画設計業務		4,546		
	菟原汚水処理場 電磁流量計更新工事	集排	5,950		
	井田額田汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,760		
	向汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,760		
	高内日置汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,760		
	福知山北部汚水処理場 流入流量計更新工事	集排	5,500		
	上夜久野汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,470		
	千原汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,470		
	小倉汚水処理場 維持管理適正化計画作成業務	集排	5,470		
	千原汚水処理場 水中攪拌機更新工事	集排	4,250		
	宮大内汚水処理場 空気流量計ほか更新工事	集排	1,846		
	固定資産 購入費			7,874	
		(土地購入費)		3,000	
六呂川排水区雨水排水施設新設工事に伴う用地費		治水対策	2,000		
長田野第1排水区ほか雨水排水施設新設工事に伴う用地費		治水対策	1,000		
(車両購入費)			2,146		
公用車			2,146		
(備品購入費)			2,728		
可搬式排水ポンプほか			2,728		
築造事務費			194,863		
	人件費(給料、手当等)		182,553		
	その他(旅費、備用品費等)		12,310		
合計			3,030,155		

4 債務負担行為

事項	期間	限度額
第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託	令和5年度から 令和10年度まで	298,795千円